

「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

平成26年5月2日(金)発行

目次

- 1 平成25年度
喜多方市小学校農業科作文コンクール
大賞作品の御紹介(連載第1回)
- 2 会津地方推進本部構成員の取組紹介
- 3 会津農林事務所からのお知らせ
- 4 今後の行事(イベント)等



平成25年度 喜多方市小学校農業科作文コンクール 大賞作品の御紹介(連載第1回)

喜多方市教育委員会では、平成21年度より標記コンクールを実施しています。

目的

- ・「豊かな心」「社会性」「主体性」の育成を目標とする喜多方市小学校農業科の成果を子どもたちの作文を通して検証する。
- ・喜多方市小学校農業科に取り組む子どもたちの感動や発見等を保護者や地域住民など広く一般市民に伝え小学校農業科に対する一層の理解を図る。
- ・広く喜多方市小学校農業科の成果を全国に発信する機会とする。

応募作品はすばらしい作文ばかりですが、本紙では5点の大賞作品を連載で御紹介します。

【大賞】

かけがえのないもの

加納小学校 六年 長井 穂乃実

私たちの学校では、毎年、五・六年生が一年を通してもち米づくりをしています。

私がこの一年間のプロジェクトの中でとても心に残っているのは、「一人暮らしのおじいちゃん、おばあちゃんに、私たちが育てたもち米でつくったお赤飯を届ける」という活動です。

私たちは、去年もこの活動をしました。去年は初めてだったので、あまり活動の意味を考えず、受け取ってもらった時のおじいちゃん、おばあちゃんの写真のすてきさ、温かさを感じただけでした。

いい事を感じることができたけど、今年は、一人暮らしのおじいちゃん、おばあちゃんのお気持ち、渡す時どんな気持ちで渡せばいいのかを自分なりに考えてみました。

自分が年をとって一人暮らしだったら、絶対さみしいし、笑い合える人がいたらと思うはずですよ。

そんな時に温かい思いがこもったお赤飯、笑顔が届いたら、涙が出るほどうれしくなるのではないかと考えました。それを考えてから私は、お赤飯もつるのかざり物も、お手紙もメッセージも、「一人じゃないよ。さみしくなったらこれを見て笑顔になっ」てね。」という思いをこめてつくったり、書いたりしました。

当日は、民生委員の方々といっしょに、五軒の家を回りました。どの家のおじいちゃん、おばあちゃんも、「ありがとう」という心温まる言葉、そしてとても輝いた優しい笑顔でお赤飯を受け取ってくれました。

この笑顔を見て、私たちは、「がんばってお米を育てて、よかったですね。」と笑い合っていました。

お米を育てることは、簡単なことじゃない。でもこの農業は、私たちに、いや、たくさんの人たちに「笑顔の温かさ」「大切な人への思い」を深く考えさせてくれる、かけがえのないものだなと心から思いました。

これからも、農業を大切に、大切にしていきたいです。

※喜多方市ホームページよりコンクール作品集をご覧ください。

<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/shimin/gyosei/14902/14980/18176/index.html>

会津地方推進本部構成員の取組紹介

～ 会津養鶏協会を訪ねて ～

会津養鶏協会 事務局長 関澤好春さん

会津養鶏協会は「会津地鶏」のブランド化を進めるため、平成17年12月に発足した会津地方の「会津地鶏」生産者（養鶏農家）及び流通事業者からなる組織です。

安全・安心で美味しい「会津地鶏」を消費者の皆様にお届けすることを目的として活動するとともに、会員の情報交換による養鶏経営の安定を目指して取り組んでいます。

そこで、会津養鶏協会の活動と今後の取組内容について、事務局を担当している関澤好春事務局長さんにインタビューさせていただきました。



会津地鶏



インタビューに答える関澤事務局長

(1) 県産農産物に対する風評について

商談会、物販等に出かけてみると風評の影響がはっきりしてきており、精肉は風評の影響が大きいのですが、加工品については比較的安心して購入していただいている傾向が見られます。これはモニタリング検査等の回数が精肉と加工品を比較すると、加工食品では検査回数が多いという認識で安心して購入していただいているように感じます。

農産物に対する風評は、6～7年は続くものと考えています。しかし、その後（あと3～4年）に県産農産物に対する風評はどうなるのかは、これからの風評払拭に向けた取組にかかってくると考えています。そこで今後も会津養鶏協会として商談会への参加やイベント等へ出店し、PR活動を積極的に行う予定です。

(2) 新たな商品開発の取組について

会津養鶏協会では、商談会に年5～6回、イベント出店による物販に年20～30回程度出かけています。そこで感じるのは、バイヤーの方のニーズにあった商品づくりをしないとなかなか売れない状況にあるということです。商談会では、バイヤーの方は忙しいなか売れる商品を必死に探しているので、この時に商品説明をうまく行い、提案していくことが大切です。

また、これまで精肉を使ったつくね串、地鶏ハム、地鶏チャーシューなどを開発し、好評をいただいています。さらに新たな取組として、会津地鶏の卵を使った6次化商品を開発しました。地鶏の卵を使ったチーズケーキ（レア・ホワイト・ベークド）、アイスマルクなどを開発し、3月に開催された会津地鶏産地懇談会においても参加者の皆様に試食いただき、好評をいただいたところです。

会津地鶏の親子丼 →



(3) 今後の取組について

観光客や消費者の皆様「会津地鶏」をより一層美味しく召し上がっていただくためには、会津地鶏を地元の事業者の皆様が使用し、消費者の皆様が安心して消費していただける環境づくりを進める必要があります。事業者の皆様へのニーズにあった商品開発や6次化商品づくりに今後も会員一丸となって取り組んでいくこととしておりますので、今後とも御協力・御支援をお願いいたします。



会津農林事務所からのお知らせ

○経営体育成基盤整備事業駒形第一地区の竣工記念碑建立式典について○

1 地区概要と竣工記念碑建立式典について

駒形第一地区は、喜多方市の東南に位置し、一級河川大塩川と境見川に挟まれた水田地帯で、昭和 30 年代に旧耕地整理事業で10アール区画に整備しましたが、小区画のうえ用排水施設も未整備であり、農道は狭小のため農業機械の通行に支障がありました。

本事業により、農地を1ヘクタールの大区画に整備し、効率的で安定的な農業経営が可能な経営体の育成を図ることを目的として、平成19年度から7年の工期で実施されました(1ヘクタール=100アール)。

地元工事推進委員、駒形土地改良区及び工事関係者の寄付により竣工記念碑が完成し、平成26年4月14日快晴の中、地元による除幕式、竣工記念碑建立式典が開催されました。

2 所在地

喜多方市塩川町窪 外

3 主要工事概要

総事業費 5億8千6百万円

実施期間 平成19年度～25年度

受益面積(整地工) 50.4ha

道路工 5.72km

用水路工 5.27km

排水路工 5.8km

【農村整備部農村整備課】



今後の行事(イベント)等

5月31日(土) 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

場所 : 道の駅にしあいづ (西会津町野沢字下條乙1969-26)

時間 : 10:00~12:00(なくなり次第終了)

内容

①野菜ソムリエ 木村正晃氏(ふくしま応援シェフ)が作る
アスパラガス料理の試食(先着 200 名程度)

②トルコギキョウのプレゼント(先着 200 名) 等

【会津農林事務所企画部】

2014年5月						
日	月	火	水	木	金	土
						3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局

(福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内)

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)

TEL (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389

E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

